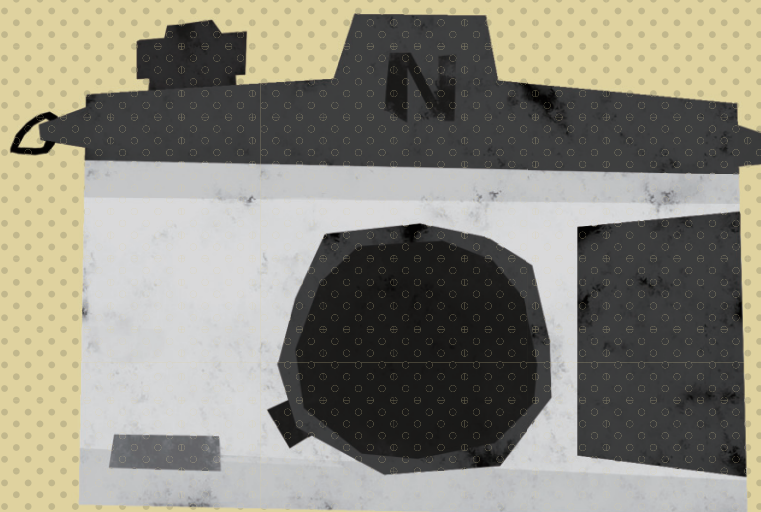
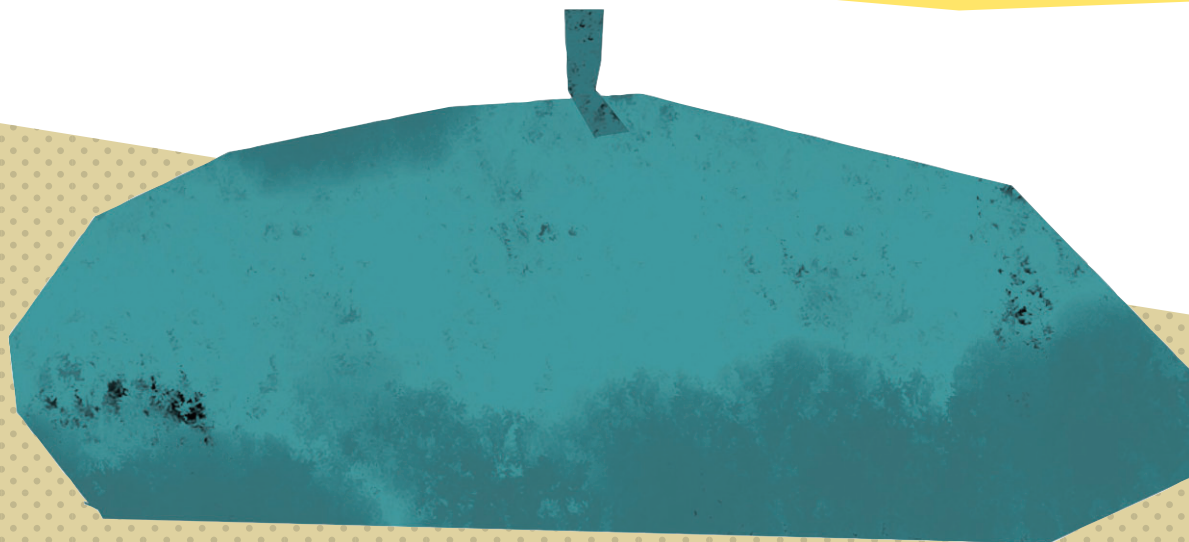


三協アルミ

# 心をつかむ施工写真

施工現場が魅力的に見える  
撮影テクニック教えます！

## 撮影Guide



三協アルミ  
エクステリアデザイン  
コンテスト公式サイト



<http://www.exteriorworld.jp/excontest/>

# 撮り方のコツをつかめば、 その写真は人の心をつかむ。



ステキに  
撮れてるね！





うちのも  
こんな感じにしたいわ！

お施主様も販売工事店様もこだわった自慢の庭やエクステリアなのに、  
写真を撮ると魅力が伝わりにくいってことはありませんか。  
同じシーンをプロが撮ると、とても素敵一枚になるように「心をつかむ施工写真 撮影 guide」では、  
感動するような写真を撮るためのコツやテクニックを紹介します。  
写真が素敵だとお施主様がお喜びになられ、お店のPRにもなりますね。  
ぜひ、ワンランク上の「心をつかむ写真」を目指しましょう。



Lesson 1

## 使うカメラの特性をちゃんと知っておこう！

種類				
特長	デジタル一眼	ミラーレス一眼	コンパクトデジタル	スマートフォン
大きさ(重さ)	大~中	中	小	最小
レンズ	交換式 (種類が多い)	交換式 (種類が少ない)	固定	固定
撮像素子(画質)	大~中	大~小	大~小	小

※この表は目安です。詳しくは、カメラの説明書をお読みください。

### デジタルカメラは一眼から コンデジ、スマホといろいろ。

デジタルカメラは用途や性能、機能によって3種類に分けられます。手軽さを求めるならコンパクトデジタルカメラ(コンデジ)が、質を重視したいならデジタル一眼あるいはコンパクトなミラーレス一眼がオススメ。最近はスマートフォン(スマホ)のカメラ機能も、性能がアップしてコンデジに匹敵するタイプも登場しています。新たに購入の際は予算と撮影スタイルを考慮してセレクトしましょう。

### ブレない撮影のために 三脚を準備しておこう。

どんなに構図がよくても、手ブレするとピンボケになって写真は台無しになります。昼でもシャッタースピードが遅いシーンや、夕暮れから夜景の撮影には、手ブレ防止のためにも三脚は必須アイテムです。



### 撮影する前に 画像サイズの確認を。

画像サイズは写真のきめ細かさに直結します。小さな画像サイズだと後から大きく写真を引き伸ばしたいときや印刷物として使用すると、画質が悪くなり、粒子が粗くて低品質な仕上がりになります。事前に一枚の画像サイズが3MB以上(JPEGデータが理想)になるように設定しましょう。





## 色合いの調整

## ホワイトバランス

太陽光、電球、蛍光灯など光源によって色合いが変わります。白色を適正な白さに写るように補正する機能がホワイトバランスです。オートに設定すれば見た目に近い色で撮影できます。

光源の色合いを色温度で表します



色温度の単位 (K: ケルビン)

☀️ 太陽光 5500K で撮影した場合



❖ カメラを 3000K に設定

色温度を低く

寒色系の色味になる



❖ カメラを 5500K に設定

オートバランス

見た目に近い色味になる



❖ カメラを 8500K に設定

色温度を高く

暖色系の色味になる

## ピントの合う範囲を調整

## 被写界深度

施工現場は手前から奥まで距離が長い空間です。そのためピントの合う範囲（被写界深度）を広げて撮影してください。広角レンズは被写界深度が広く（深く）なり、手前から背景まで広い範囲でピントが合いやすくなります。

背景がボケ  
やわらかい印象



F2.8 で撮影



F16 で撮影

## シャッター速度と絞り値

## F値の調整

シャッター速度はシャッターが開いている時間で、絞り値 (F 値) とはレンズから入る光の量のこと。写真の明るさ (露出) は、この2つのバランスで決まります。F 値を大きくする (しぼる) に伴いシャッター速度は遅く、小さくする (開ける) とシャッター速度が速くなります。



シャッタースピードが速い (1/2000)

動くものが  
流れて写る



シャッタースピードが遅い (1/15)

## 明るさの調整

## 露出補正

オートで撮影する場合でも、曇っていたり逆光気味だったりすると画像状況に満足いきないことがあります。この場合は、露出補正の [+/-] を操作して明るさを調整しましょう。



オート撮影



+2EV

露出補正で  
暗い時は明るく

### 暗い所でも明るい写真に ISO感度

ISO 感度とは感光部が光を感じる感度の良さを数値化したもの。もともとフィルムの感度の規格でしたが、デジタルカメラにも使われています。ISO 感度を上げることによって暗い場所でも明るく、手振れが少なく撮影できます。ただし、極端に高 ISO に設定するとノイズが発生し、写真の写りに悪影響を及ぼします。

## 3 美しいと感じる構図の基本形をマスターしよう!



## 【 三分割法 】

縦の配置を地面=1：空=2になる様に分割し、横はカーポート=1：それ以外=2に分割する様、構図を取っています。黄金比の1：2は人が最も美しさを感じる比率です。

写真の黄金比1：2の比率で被写体を配置する構図



## 【 三角構図 】

(左) 敷地の境界線とカーポート前枠のラインとで横向きの三角形を作る様に配置し、3台用カーポートのスケール感を演出。  
(右) まっすぐ伸びる通路とシェルターを二等辺三角形になる様に配置する事でシェルターの長さ（奥行き感）を強調。

画面上に被写体を三角形に配置する構図



## 【 対角線構図 】

直線に伸びる欄干を対角線上に配置する事で、奥にある山並みに視線を誘導させ、写真中央に設置された地元の山をモチーフにしたオブジェとの相関を印象付けています。

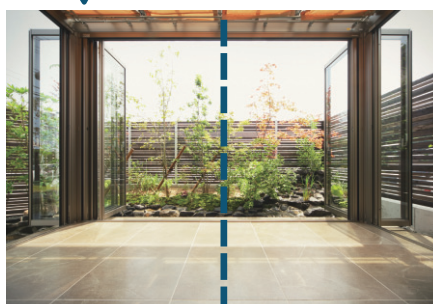
直線的に伸びる被写体を対角線方向に配置する構図



## 【 シンメトリー構図 】

内観側からガーデンルームが左右対称形になる様に配置する事で、安定感や静肅性を与える効果を狙っています。

被写体を左右対称に配置する構図



## 青空が見える、晴れた日に撮りましょう。

緑と調和も美しく  
色鮮やかな一枚が期待できる。

撮影の第1ポイントはなんといっても天候。晴天の日を選びましょう。雨天では陰影がなくベタで平面的になりがち。晴れた日だと青空や緑の調和も美しく、色彩も鮮やかになり、立体的でメリハリのある写真になります。青空に浮かぶ真っ白い雲も絵になります。



曇りの日

影ができにくくコントラストが低い



晴れの日

明暗差の大きいパキッとした写真に



## 知っておきたい、方角と撮影時刻の関係。

撮影は太陽の位置を考えて、  
逆光は避けるべし。

撮りたいアングルの方角を考慮して、日の当たる時間帯に撮影しましょう。逆光になるアングルは避けるように。季節により影の長さも変わるので、電柱や近隣の建物の影など、周囲の状況も見ても判断してください。自分の影や、窓ガラスへの映り込みにも気をつけて。

太陽の動きと影 — 南向きの建物の場合

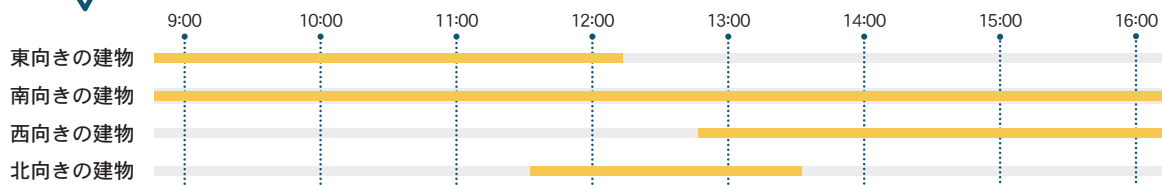


東側、南側に日が当たっています。

南側にまんべんなく日が当たっています。\*南側は終日(9:00ごろ～15:00ごろまで)明るい。

西側、南側に日が当たっています。

施工写真がきれいに撮れる時間帯



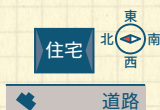
\*季節により、太陽の高さや日の出・日の入りの時刻が異なりますが、おおよその目安にしてください。



北側は陰になって終日暗いので、できるだけ明るく撮るために、太陽が一番高い時間帯を選びましょう。

西向きを午前中に  
撮影してみました!

朝早い時間とお昼頃では日の当たり方の違いがわかります。(残念ながら曇りの日でしたが)



朝9時頃



正午

お昼頃からやっと明るくなる西向き

## ロマンあふれる黄昏シーンにチャレンジ!



夕暮れから刻一刻と表情が変わります。



### 同じ場所だけど薄暮の時間帯は昼とは違う表情に。

夕景は余計なものあまり写り込まないので、昼間のカットとはまた一味違った雰囲気ある写真になります。時間は日が完全に沈む直前直後あたり。家のシルエットが夜の闇に融け込まないタイミングで。美しい夕焼けも雰囲気づくりに役立ちます。プレないように、なるべく三脚を使いましょう。

※ホワイトバランスの設定を変えると、意図的に雰囲気のある写真を撮ることができます。

### 庭に散水すると、灯りが反射して幻想的に!

お施主様にお願いしてお部屋や玄関灯、庭灯りはすべて点灯していただきます。床面に散水すれば灯りが写り込み、より幻想的になります。



## アクティブに多角的なアングルで撮ろう。

### 何百枚の写真から最高の一枚を選ぼう。

全景、近景、部分、俯瞰、そして時間帯を変えてさまざまなカットをたくさん撮ってみましょう。その中からベストなものを選んでください。庭の設計プランで「最も重視したポイント」もお忘れなく。



俯瞰も全体像が見えて面白い。

### 広角レンズで遠近感あふれる迫力あるシーンを。

広角レンズは適切に使うと、空間の立体感・ダイナミック感が出るため、人目を引く強調効果があります。あおり過ぎると歪みがでたり、全体プランがわかりにくくなるのでほどほどに。

#### 通常のレンズ



レンズ 50 mm

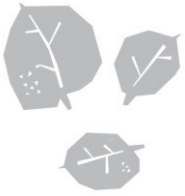
#### 広角レンズ

広々とした空間が強調される。



レンズ 20 mm

## センスある演出で、シーンの魅力をアップさせる。



緑をフレームに取り入れる



構図の手前や縁に樹木や花などを取り込んでみましょう。素敵な雰囲気のカットになります。



演出小物を活用する

お施主様が愛用されているグッズや、ファニチャー、鉢などとともに、その場で過ごされる時のシーンを再現してみましょう。訴求力が高まります。マイカップ、愛読書、おもちゃ、好物 etc. ただし、全体の雰囲気を損なわない程度に。もちろんペットもご家族の一員としてぜひ押さえていものです。



人物を入れる

素敵な空間がもたらすお施主様の幸せそうな笑顔が撮れたらいいですね！どんな庭暮らしをされているか、どのように使われていらっしゃるかがわかれば、エクステリアプランが一層生きてきます。



## その他の注意点（広さの対比、余計なものを入れない）

大きな空間は広さが対比できるように



何も入っていないと、空間の広さがわかりにくいですが…

車や自転車を入れる



車や自転車、人などが入ると大きさや広さを実感できます。

洗濯物  
住宅  
道路

近隣の洗濯物が入らないように



隣家の布団干しが視野に入ってしまう、気になります。

アングルを変える



角度や目の高さを変えて、余分な要素が入らない画面に。

洗濯物  
住宅

道路

電柱や電線がなるべく入らないように工夫しましょう。

ゴミ箱や原色のバケツなど、なるべく写らないように配慮しましょう。

# いい写真は、 いい仕事をしてくれます。

すばらしい作品のような写真が撮れたとしても、活用しなければ宝の持ち腐れです。

プリントだけではなく、デジタルデータですから様々なメディアに利用しましょう。

感動的な一枚の写真は、お店の頼もしい営業マンとして活躍してくれます。



その写真は、お施主様への  
素敵な記念品になります。

こだわり抜いたエクステリア、その  
情景を収めた一枚の写真はお施主様  
にとって記憶に残る記念になるはず。  
大きくプリントしてフレームで飾っ  
てプレゼントしてはいかがでしょうか。

自社のホームページに  
施工例写真を掲載。

お店のホームページやブログ、  
フェースブックやツイッター、  
チラシなど印刷物にも活用して  
お客様にPRしましょう。



その作品を、エクステリアデザイン  
コンテストにぜひご応募ください。

毎年開催されている当社のエクステリアデザ  
インコンテストに応募してみませんか。入賞  
作品は各メディアで紹介され、お店の強力な  
PRにつながります。

エクステリアデザインコンテスト  
<http://www.exteriorworld.jp/excontest/>

エクステリアデザインコンテストに入賞するとこんな特典があります。

1 自分のお店ホームページに  
受賞報告ができます！

2 三協アルミ情報誌に  
受賞作品が掲載されます！

3 名刺用受賞シールをもらい  
名刺で受賞をお客様にアピール！

4 三協アルミホームページに  
受賞作品が掲載されます！



2015年5月発行